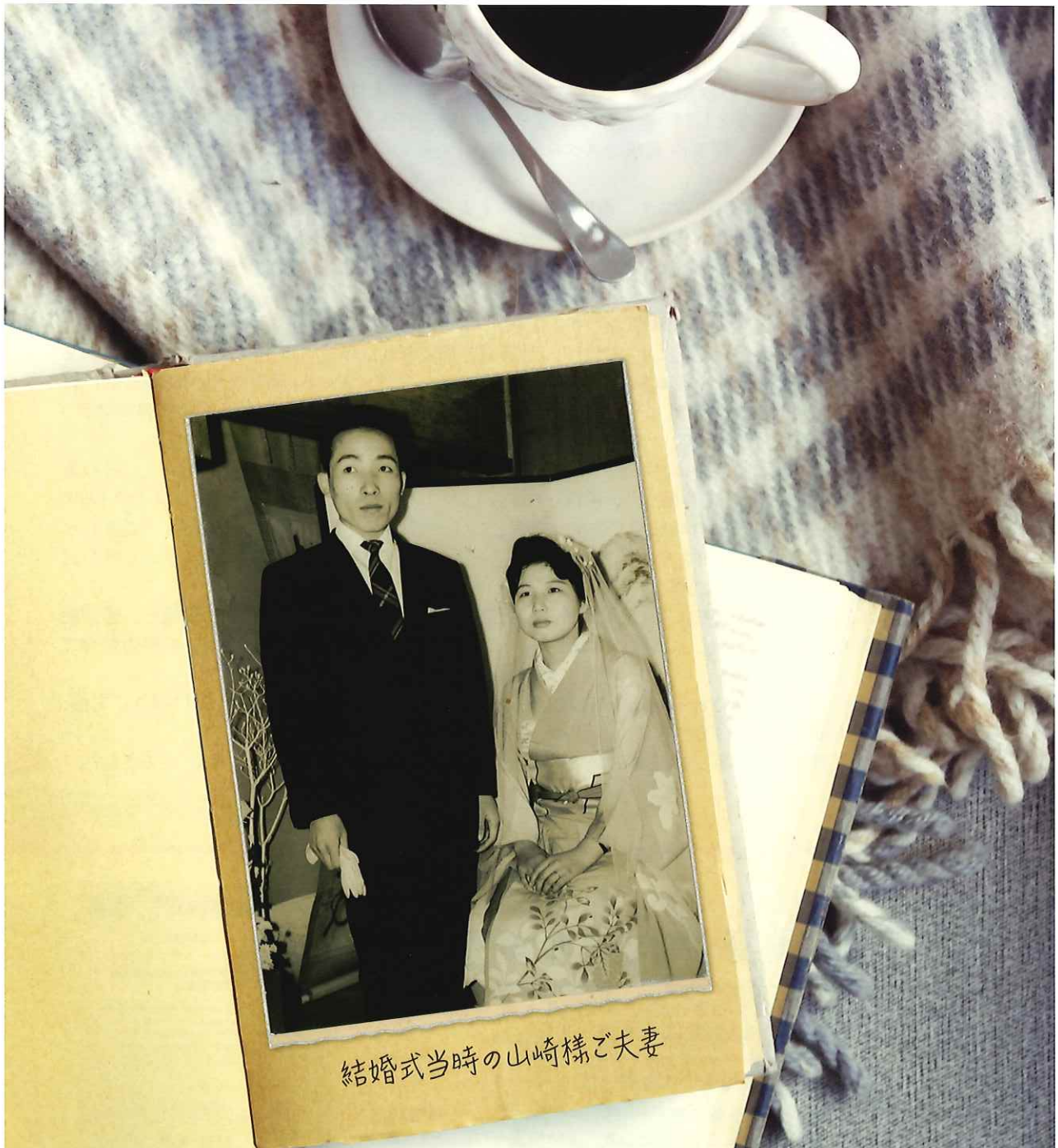




# さと やすらぎの郷



結婚式当時の山崎様ご夫妻

# 新年の挨拶

園長 野見山 浩志



**新**年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、新型コロナウイルス感染症の影響により社会情勢が混沌とする中、やすらぎの郷に対しまして、格別のご支援ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

新年を迎えましたが、まだまだコロナの脅威は拭い去れず、不安な思いでお過ごしの方も多々いらっしゃると思います。一日も早く、ワクチンの普及、治療薬の開発、さらには医療体制の確立が実現し、安心して過ごせる日々が戻ってくることを切に願っております。

やすらぎの郷は、全力を挙げて感染防止対策のさらなる徹底・維持を図りながら、利用者の皆様の安心・安全を確保してまいりたいと考えております。

このたび、やすらぎの郷の令和3年度事業計画を策定いたしましたので、その中からいくつか主な取り組みについてご紹介したいと思います。

第一に、リスクマネジメントの取り組みです。現在、当施設で最も発生件数の多い転倒事故を極力防止するために、介護ロボット導入事業として特養を中心に“見守りカメラCUBE”を設置し、令和3年度から実質的有効活用を開始します。さらに、特養内入居者スペースの劣化した床の張替工事を実施し、入所者の皆様の安全性の向上を図ります。

第二に、施設サービス向上の取り組みです。看取り体制の充実を図るとともに、終末期にある利用者ご家族との大切な時間を確保するための看取り専用個室の設置に向けた改修工事を実施します。また、コロナ禍におけるWebやオンラインカメラ等を活用した面会やご家族との交流を積極的に図り、施設サービスの向上に取り組んでまいります。

第三に、介護人材の確保と育成への取り組みです。ご承知のとおり、現在、介護人材の不足は福祉業界でも喫緊の課題となっております。当施設においては、人材確保を図るため、介護ロボットの導入をはじめとする先進的介護の推進による業務負担の軽減を図り、国の働き方改革を念頭に置いた“働きやすい職場づくり”に取り組んでまいります。また、職員の育成については、職員の役割に応じた他施設との短期交流研修やステップアップ・スキルアップ研修など積極的に実施し、質の高い介護サービスの提供に努めてまいります。

さて、先月開催の社会保障審議会において、令和3年度介護報酬改定の5つの柱が示されました。その筆頭項目は、“感染症や災害への対応力強化”が挙げられております。感染症については、新型コロナウイルス感染症発生から丸1年経過し、かなり対応力も進歩・充実してきたと実感しております。しかしながら、近年、水害や台風、地震などの災害も急増しており、災害弱者となりうる高齢者の皆様のいかに支援していくか、その対応力も重要課題の一つとして忘れてはならないものと認識しています。

当施設は、昨年3月に地元志免町に“福祉避難所”の指定を受けました。地域の高齢者の皆様の、感染症のみならず様々な災害発生時に支援し、地域に貢献していくことも、赤十字の施設であるやすらぎの郷の使命であると考えています。

今後とも、皆様から信頼され愛される施設であり続けるよう、鋭意努力してまいりますので、引き続きご支援、ご協力のもとよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとって輝かしい一年となりますことを心からご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

## 福岡県身体拘束ゼロ宣言

12月1日付けで、やすらぎの郷が提出していた「福岡県身体拘束ゼロ宣言」が福岡県に登録されました。

### 身体拘束ゼロ宣言とは

福岡県が、県内の介護施設等の事業所に対し呼びかけている活動で、利用者ケアの質の向上を図ることを目的として、身体拘束ゼロに向けた取り組みを行うことを宣言した事業所を登録し公表するものです。宣言書を提出した事業所には、県で作成した「福岡県身体拘束ゼロ宣言ポスター」が送付されます。

## 福岡県身体拘束ゼロ宣言

私たち 日本十字社福岡県支部  
特別養護老人ホームやすらぎの郷  
は、「福岡県身体拘束ゼロ宣言」を行い福岡県の登録を受けている事業所です。

利用者のケアの質の向上を図ることを目的として、事業所内での身体拘束ゼロを実現するための取組を行っています。施設内での身体拘束を含めた利用者様の取組に際してお気づきの点がありましたら、職員までお気軽にご相談ください。

### 「福岡県身体拘束ゼロ宣言」5つの取組み

- 1 身体拘束禁止をトップで決断し、責任をもって取り組んでいます。
- 2 身体拘束禁止委員会を設置するなど、多職種による話し合いの機会を設け、より良いケアの実現に向けた取組に取り組んでいます。
- 3 利用者の尊厳と、身体拘束禁止について協力関係を築くことを目指しています。
- 4 事故が発生しないための工夫に取り組んでいます。
- 5 事故の発生防止を目的とする取組を設け、研修等に組み入れるよう取り組んでいます。
- 6 中核を担う身体拘束を行う職員は、「緊急時」「代替性上」「一時的」の要件を、厳格して遵守します。



福岡県身体拘束ゼロ宣言推進委員会

Respectively

# それぞれの物語

Story  
家族インタビュー

やすらぎの郷は人の想いを支えます



山崎和子様(81歳)のご主人よりお話を伺いました。

## お二人の出会い



私が高校三年生の時に家内は新一年生で、当時家内は英語研究部に所属しており、文化祭では英語劇をするなど目立つ存在でした。会合で話す機会があり出会いました。家内は明るい性格で人を笑わせるのが好きで、いつも集まりの中心にいる人でした。卒業してからも学校に遊びに行くと話ができて嬉しかったです。ほぼ私の一目惚れですね。お付き合いが始まって3年かかりました。

私が22歳、家内が20歳の時に、家内の叔母からお金がなくても一人口より二人口の方が食べていけるよと結婚を勧められ、何も無いところから始まりました。生活は苦しかったですがとても幸せでした。私が夜遅く急に会社の同僚を連れて帰っても、嫌な顔ひとつせず手料理を振舞ってくれたし、愚痴ひとつ言わない人でした。夫婦喧嘩も人生一度だけ。その時も家内は口では何も言わず茶碗を一枚だけ勝手口で割って部屋に戻ってきて、次の日は何事もなかったように接してくれました。今思うと本当に感謝しかありません。

## 和子さんの変化

少しずつ物忘れが多くなってはいましたが、いつもの物忘れじゃないと感じたのが今から5年前。お正月に家族みんなで集まった時に孫に渡すお年玉を何処に置いたか分からなくなり、孫たちが総出で家中を探し回ったことがありました。お年玉は布団と布団の間から出てきたのですが、その時に息子の嫁から「普通の物忘れじゃないように感じる」と言われ、

初めて物忘れクリニックに連れて行きました。そこで診察の一つに時計の絵を描くテストがあったのですが、驚きましたね。時計の針が書けていなかった。そのくらい症状が出ているのだと悲しくなりました。デイサービス等の福祉施設を紹介され連れて行きましたが、家内はデイサービスに合わず、大声を出したり、行くことを嫌がり3~4か所変わりました。その間にも症状は悪化していき、きわめつけは、晩ご飯を一緒に食べている時に急に席を立ち、どこかに行こうとするのでどこに行くのか聞くと、「お父さんを探しに行く」と、私が止めても私の事を知らない人だと思い込んでいるので叫んで騒ぎ出して、隣の奥さんが助けてくれたことがありました。その頃から徘徊の症状が出てきましたね。徘徊がみられるようになって一番怖かったのが、平成29年3月のことです。夜中の1時に目を覚ますと家内が居なかった。まだその頃家内は携帯を持っていたのでGPSで検索して必死に捜しまわって見つけたのが朝方の4時でした。発見した時はどこかで顔を打ったのか腫れており、メガネのレンズで顔を切っていて、着ていたジャケットが血だらけで心臓が飛び出ると感じましたね。泣きました…

次の日病院に連れて行き、徘徊の度に怪我をしているのでいつか車に引かれるかもしれない、その前に施設に入れた方が良くと勧められました。徘徊は週に2~3回のペースで夜のことが多かったからです。



## お父さんの心情

本当なら施設には預けたくなかったです。私の事をお父さんだとは思ってくれない瞬間があったとしても、ずっと一緒にいるのが当たり前だと思ってい

ました。でも、徘徊の理由が私を捜していたこと。私のことを命がけで捜しまわっていると思うとすごく胸が痛くて苦しくて、二人とも苦しむぐらいなら施設に入れた方が良いのかなと思いました。苦渋の決断でしたね。少しでも穏やかに過ごせるのならと施設に預けましたが、施設に入れてからしばらくは私自身が「もぬけの殻」のような状態になり、体調も良くなかったので本当にきつかったです。

### やすらぎの郷への入所

やすらぎの郷に来たのは平成31年。要介護が5になった時点で前の施設を出なくてはいけなくなり、何カ所か施設を見て回りました。その中でやすらぎの郷が一番良かったです。施設見学をした時に家庭的な感じを受け、印象がとても良かったからです。自宅から近いこともありましたが、行武君や安達さんの誠意を感じ、ここなら家内を安心して預けられると思いましたね。現に職員のみなさんに良くしてもらい、ホッとしています。施設に来るときは、家内の見覚えのある洋服で来るようアドバイスしてくれたこともあ



りました。少しでも私のことを思い出すためだそうです。

りました。少しでも私のことを思い出すためだそうです。

### 入所してからの心境

入所してからはほぼ毎日決まった時間に会いに行くようにしました。耳かきをしたり、爪を切ったり、TVを観ながら手をマッサージしてあげたり、何気ない日常を決まった時間の中ではあっても一緒に過ごせるのがとても嬉しくて楽しいです。家内も随分と穏やかになってきました。機嫌が良い時は手を振ってくれたり笑顔を見せてくれたり、今思うと昔働き過ぎたので、今やすらぎの郷でゆっくりのんびり過ごしているのだと思います。ただ今はコロナ禍で会うことすら難しく、触れることも出来なくなってしまっていて本当に残念で仕方ないです。会えないのが本当に辛くて寂しい…ただただコロナが憎いです。会えない時間と比例して私のことを忘れるのではないかと不安で仕方ないですね。生きている間少しでも恩返しが出来よう、早い終息を願うばかりです。

### インタビューを終えて

今回、和子様のご主人より沢山のお話を聞かせて頂き感じたことは、「感謝」の言葉です。お二人の愛情の深さや繋がりを肌で感じ、感謝の気持ちを常に持ってお互いを思い合うこと。とても温かい気持ちになりました。貴重なお時間どうもありがとうございました。



## 認知症初期集中支援チーム

平成31年4月1日より、志免町役場からの要請により、志免町認知症初期集中支援チーム（チーム桜花）のチーム員として、活動しています。対象は志免町民の方々と、志免町役場福祉課に相談が寄せられた認知症又はその疑いがある方の自宅を医療（看護師）の専門職とタッグを組み、支援を行っています。

主な内容としては、認知症に関する電話相談や自宅訪問での相談、病院受診の支援、介護サービスの利用支援等、その方に応じた支援を行っています。又、月に1回のチーム会議（チーム医師、福祉課職員、チーム員）に出席し、それぞれの事例について検討しています。



志免町の2019年の総人口にしめる65歳以上の割合（高齢化率）は23.0%。高齢化率は年々、増加しており、チーム員への支援要請も増えています。これからも志免町の福祉の一翼を担えるように頑張っていきたいと考えています。

ケアプランセンター管理者  
主任ケアマネジャー 安藤 大相

# デイサービス

## デイサービスの一日

利用者の朝鶴カズ子様(美空ひばりさんが大好き!)のご様子をもとにデイサービスの一日をご紹介します。



Day Service

### 8:30～ お迎え(朝の送迎)



リフトやワゴンなど送迎車で  
お迎えにあげります。  
乗車前に検温・体調確認を  
実施。

### 9:20頃～ やすらぎの郷デイサービスに到着



おはよう  
ございます!

出迎えたスタッフと元気に挨拶。入口で手指消毒を行います。

### 9:30～ ティータイム、バイタルチェック



温かいお茶を提供し、まずはゆっくりとくつろいでいただきながら、看護師によるバイタルチェック(血圧・脈拍)を受けます。

### 10:00～ 朝のレクリエーション



季節の歌や懐かしい曲を聴いたり、記念日紹介や頭の体操などを織り交ぜながら、体操・ストレッチで健やかに一日をスタートします。食事前は口腔体操も行います。

### 入浴

身体の状況に応じて一般・機械浴槽を使用し安全にゆったりと入浴することができます。



温まったよ～!



身だしなみもしっかりと

### 11:45～ 昼食

管理栄養士の立てる献立で、栄養並びに個別の状況及び嗜好を考慮した食事を提供。

### 13:00頃～ お昼寝、自由時間



お昼寝や休憩をはさみながら、作品製作や手作業・音楽鑑賞・塗り絵・パズル・脳トレテキストなど、皆さん自由に余暇時間を過ごされています

### 排泄誘導・水分補給

排泄誘導・水分補給は定時に実施しています。



### 14:00～ 昼のレクリエーション

音楽体操・脳トレ・歌など、いろいろなレクリエーションを用意しています。

### 15:00～ おやつ



スタッフや他利用者さん達と一日を振り返りながら帰り支度を済ませます。

### 16:00～ 帰りの会、帰りの送迎



帰りの会は花笠音頭体操をしてデイサービスでの一日が終了。

今日も楽しかった～  
さようなら!

# 【2020年コロナ禍での施設行事】

2020年は新型コロナウイルスの影響により、前回の広報誌でもご報告した通り感染予防対策に追われた1年でした。2020年の行事は感染症予防対策として「施設外の方は参加しない」「密を避けるため一同に集まることはせず、また、東棟・西棟・ケアハウスの各ご利用者が交わる機会を避ける」を取り決め、そのような条件下で、どのような開催の方法があるか？をスタッフ間で協議しました。

## 『敬老の集い』9月23日

長寿表彰対象者と少人数のご利用者のみが参加し、皆様の長寿をお祝いしました。やすらぎの郷でボランティア活動を行っていた宇美商業高校の皆さんから「お祝いのビデオメッセージ」をいただきました。記念写真のために、日本赤十字社福岡県支部からレッドクロスパネルを借りて、お一人お一人ポーズをとっていただきました。賑やかさはありませんでしたが、心のこもった集いとなりました。



## 『第8回やすらぎの郷秋祭り』10月21日

これまで、多くの団体による出演者の皆さんで賑やかなステージを展開していましたが、今回はそれができず、色々な可能性を検討した結果、普段ご利用者が観る機会がない大道芸、それも一流のパフォーマーYAYAさんに出演してもらうことになりました。皆さんは食い入るようにYAYAさんのステージを観ていました。飲食については、スタッフ手作りでスイートパンプキンと、たこ焼き（誤嚥防止のためタコなし）、ジュース、ノンアルコールビールを準備。最期は、秋にちなんだ歌を、園長のピアノ演奏をバックに合唱しました。それぞれの棟で、計3回開催し、東棟・西棟・ケアハウスのご利用者の皆さんも大変満足されていました。 ※YAYAさんは、ジャグリング世界大会で準優勝の経歴があり、日本のみならず、アメリカ、フランス、ドイツなど世界各国から招聘され活躍しているパフォーマーです。



追記

一昨年のこれらの行事の写真を見ると、あまりの密な状態に違和感を感じ、いつのまにか新しい生活習慣が馴染んでいる事に気づきました。今年は、なんとか従来に近い形で、さまざまな行事やサークル、ボランティア活動などが開催できることを祈っています。

日本赤十字社福岡県支部  
特別養護老人ホーム

やすらぎの郷

〒811-2208 福岡県粕屋郡志免町大字吉原600番 TEL.092-936-2022 FAX.092-936-2135  
ホームページ <http://yasuraginosato.org/cgi-bin/index.cgi>

令和3年1月発行